

# HPE GreenLake フレックスキャパシティ

所有から利用へ。

これまでにない、オンプレミス型従量課金サービス



# お客様のビジネス変化の 速度に合わせて、 ITインフラリソースを適切に追加

新規サービスの立ち上げ、お客様の増加に合わせたサービスの拡張など、ビジネスニーズに応えるためには、ITによるタイムリーなインフラ整備が求められます。しかし、求められるITインフラリソースをオンプレミス環境で構築するには、手間や時間はもちろん、コスト面でも大きな負担です。

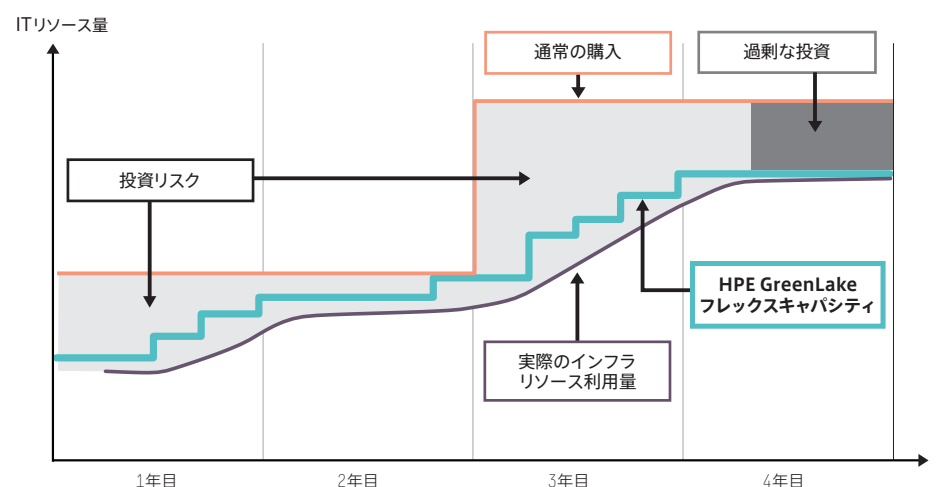
こうしたケースのソリューションとして有効なのがパブリッククラウドですが、セキュリティやガバナンスの面から移行できないという企業も決して少なくありません。さらに提供元の環境に依存するため、フレキシブルに運用できないという面もあります。

この課題に対応する新しいサービスが、「**HPE GreenLake フレックスキャパシティ**」です。必要なリソースを必要なだけオンプレミスのように自由に設置でき、パブリッククラウドのように利用した分だけ料金を払う。初期費用を抑え、効率的なIT利用を目指すお客様に最適なサービスです。

## IT投資リスクやTCOを低減して、最新の機器を導入

通常は機器を購入した最初の年に多額のキャッシュアウトが発生し、キャッシュフローのバランスが崩れます。しかし本サービスはIT機器の実使用分を利用料金として計上できるので、1年目から営業利益を見込むことが可能です。

また導入したハードウェア資産はHPEが保有するため、オフバランス化が実現し、キャッシュフローの改善につながります。既存IT資産の簿価がある場合は、一旦既存の資産をHPEが買い取り、その資産ごとサービス化する方法もあります。除却損が発生せず、無駄なくサービスを利用することが可能です。

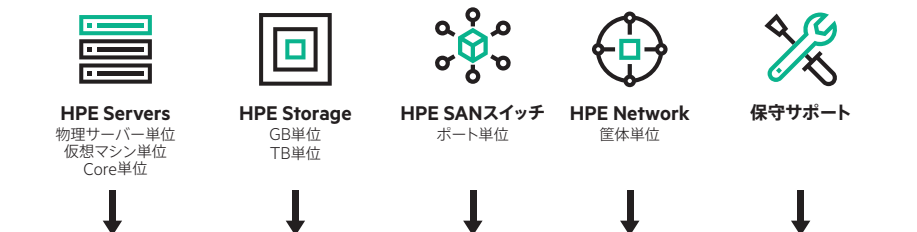


上の図から、数年後を予測して増設するインフラ投資は、過剰なリソースとなります。  
(注) オフバランス化の可否につきましては貴社の会計会社にお問い合わせください。



## すべてのHPE製品と保守サービスを ラッピングして月額料金でお支払い

本サービスではHPE製品を使用リソース量を高性能なメータリングツールで測定し、保守サービスと一緒に月額で料金をお支払いいただけます。また日々の使用リソース量、月額料金はFCポータルサイトでお客様も確認することができます。



### 使用リソース分<sup>※</sup>を月額料金でお支払い

※基本料金が設定されております。  
HPEネットワーク、保守サービス、HPEソフトウェアは月額固定となります。

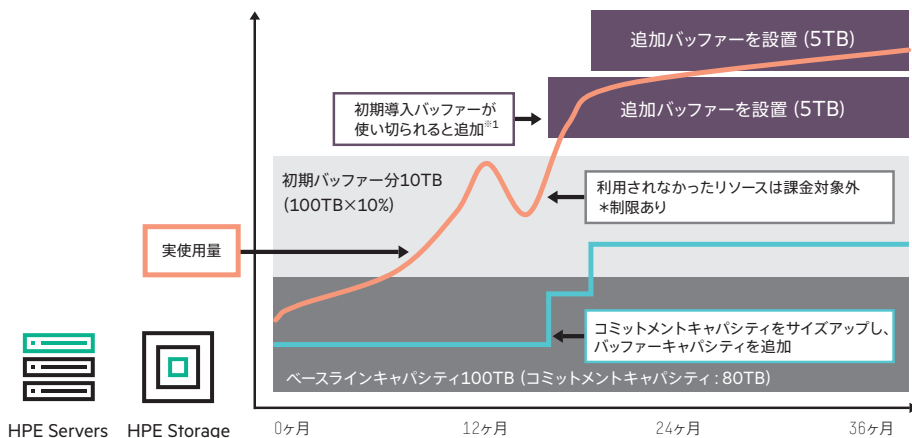
## コストをかけずにバッファリソースを確保

スケールアップに備えて、バッファリソースを設置しておくことも可能。このリソースは実際に利用が発生するまで課金の対象にはならないため、安心して待機させておくことができます。将来のために、あらかじめ莫大なインフラリソースを準備しておく必要がありません。また、追加バッファは当社にて設置。お客様の調達コストを削減します。

本サービスは二つの課金モデルをご用意しています。利用量が状況に応じて変化するお客様向けの「Premiumモデル」と、利用量が継続して増加していくお客様向けの「Basicモデル」。自社のIT環境に合わせて二つの課金モデルから選ぶことが可能です。Premiumモデルの場合、実使用量が前月より減った場合、利用されなかったリソース分は課金対象外（コミットメントキャパシティが下限）となります。

### Premiumモデル(利用量が増減するシステム向け)

バッファとは、あらかじめ設置されすぐにご利用が可能な状態の機器で、ご利用開始後課金が開始されます。

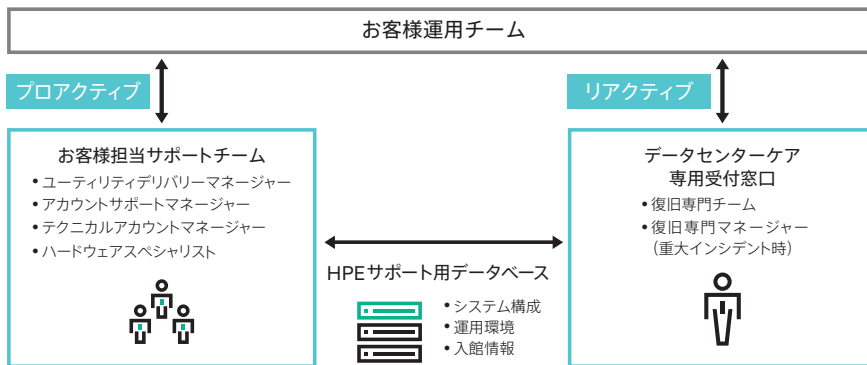


基本料金が相当(コミットメントキャパシティ) : 80TB  
使い始めてから課金開始(バッファ) : (100TB - 80TB) + 10TB = 計30TB

※1 バッファキャパシティ用機器の追加は、追加機器分と同じ台数/GB数分のベースラインキャパシティのサイズアップが必要となります。

## 運用、管理、障害対応は専任のエンジニアに

複雑化、大規模化するIT環境。IAサーバーを大量に運用すると、その運用工数、管理工数、障害対応工数は計り知れません。万が一トラブルが起きた場合、なかなか切り分けできないという事態に直面します。「HPE GreenLake フレックスキャパシティ」では、お客様に運用負担が生じないよう、専任のエンジニアが対応。サポートもニーズに合わせて柔軟に選択できます。ITインフラをすべてサービス化することで、人材やキャッシュを効率的にビジネスへと投資することが可能です。

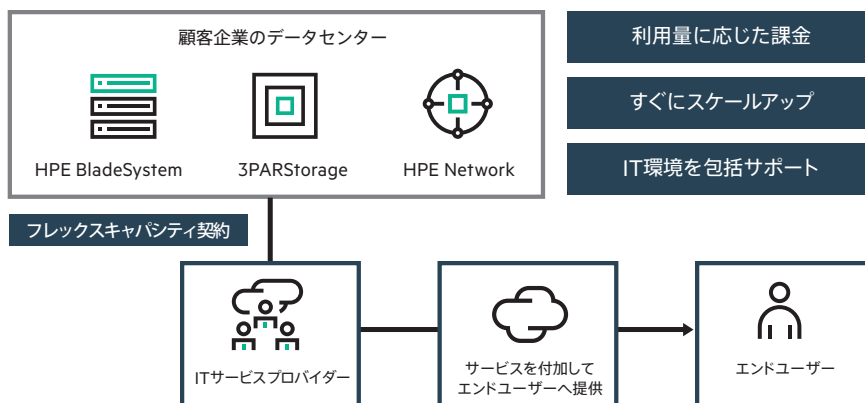


## 運用はオンプレミスのように 利用料はクラウドのように

オンプレミスとパブリッククラウドのメリットを両立した「HPE GreenLake フレックスキャパシティ」。サーバーやストレージ、ネットワーク機器をHPEが用意してお客様の社内に設置し、サービスとして提供します。お客様は利用した分だけ料金を支払うため、リソースの無駄がなく、スモールスタートが可能です。

将来的なクラウド化に向けてリソースをサービス化しておきたい企業、インフラリソースの的確な予想が難しくリスクを抑えたいお客様には特に適しています。またキャッシュフローの改善を考える企業にとっても検討する価値があるサービスです。

### クラウドビジネスの新規立ち上げ<HPE GreenLake フレックスキャパシティ活用例>



HPE フレキシブルキャパシティ (旧サービス名) は、Frost & Sullivan 2015 (North American) Customer Value Leadership Awardを受賞いたしました。

メールニュース配信登録

詳細情報  
[hpe.com/jp/greenlake](http://hpe.com/jp/greenlake)